

今回のJSME-diaは、2012年7月16日に東京海洋大学で開催された、海の日記念行事のうち越中島キャンパスでの催しについて報告いたします。日本唯一の海洋系総合大学である東京海洋大学では、一般の皆様幅広く海に親しみ・興味を持っていただくと共に、本学で行われている教育研究活動をわかりやすく紹介するために、「海の日」記念行事を毎年行っています。

※「海の日」とは

海の日は、明治天皇が明治丸で奥羽御巡幸から横浜港に安着された7月20日にちなんで、昭和16年「海の記念日」が制定され、平成8年からは祝日「海の日」になっています。

本記念行事で行われた各催しは以下の通りです。

- ・百周年記念資料館の特別公開及び企画展示「東京海洋大学 蔵出しお宝展」
- ・「やよい」「カッター」「らいちょうI」試乗会
- ・附属図書館越中島分館の開館と「蔵出しお宝展」の関連書籍紹介
- ・越中島キャンパス内史跡めぐり
- ・明治丸シンポジウム「明治丸と地域防災」
- ・研究室・実験室等の公開
 - 訓練用遠隔操縦模型船の公開
 - 遠隔操縦ロボット操作体験
 - 電子制御式2ストロークディーゼル機関の公開
 - 暖めたり冷やしたり
- ・大学紹介・入試相談会



図1 百周年記念資料館



図2 犬養毅書

【百周年記念資料館 「蔵出しお宝展」】

揮毫・登録有形文化財を中心とした企画展示や、重要文化財「明治丸」の誕生から現在に至る文献・写真等による紹介が、百周年記念資料館にて行われました。(図1)また附属図書館越中島分館でも本学を訪れた著名人たちの揮毫や明治丸関連資料の公開が行われました。(図2)

【「やよい」「カッター」「らいちょう I」試乗会】

練習船「やよい」(図3)電池推進船「らいちょう I」は学内スタッフにより学内係船池からの東京港ミニクルーズを行いました。カッター試乗会は、本学カッター部部員により行われ隅田川周辺を遊覧しました。いずれも毎年開始時間前から順番待ちができるほど人気で、今年も賑わっており多くの方に船に親しんで頂きました。



図3 練習船「やよい」



図4 電池推進船「らいちょう I」

【明治丸シンポジウム「明治丸と地域防災」】

本シンポジウムでは明治丸(図5)が日本の歴史において果たした活躍等を広く皆様に知っていただくことを目的として、「船という文化資源について」という題目で記念講演が行われました。また「明治丸と地域防災」をテーマに取り上げ開催されたパネルディスカッションでは、国土交通省港湾局海岸・防災課長、江東区副区長、深川消防署長をお招きし、深い議論がなされました。

【越中島キャンパス内史跡めぐり】

学内サークルの1つ、海事普及会の学生が学内の史跡を案内して回るツアーが行われました(図6)。参加者の皆さまには本学の歴史・海洋文化について触れて頂ける機会となりました。



図5 明治丸(重要文化財)



図6 史跡めぐり(商船大学第一観測台)

【研究室・実験室等の公開】

造船工学研究室では船舶運航性能実験水槽で昨年導入された、訓練用遠隔操縦模型船を利用した操船シミュレーションや実験演習授業の様子を公開していました(図7)。これは、練習船や操船シミュレータによる訓練の補助として、実践的な体験教育が可能となっています。

またロボット工学研究室は、マニピュレータの遠隔操作の疑似体験会を行いました。実際の海中環境を想定して、目視では無くモニター画面に映し出されたカメラの映像のみを頼りに、ジョイスティックでの遠隔操作が体験できました(図8)。

いずれも一般の方に実際に体験して頂くことで、先端の研究に触れ・体感出来る機会となりました。



図7 実験水槽と模型船シミュレータ



図8 マニピュレータ

内燃機関工学研究室では、同研究室所有の電子制御式船用2ストロークディーゼル機関が公開されました(図9)。こちらは本年度、新調された最新のもので、学生実験や企業との共同研究にも利用されています。船用機関を間近で見学でき、学生による案内・解説も行われました。また、学生有志による学部学科紹介や実習風景のパネル展示も同時に行われ、こちらも大学を広く一般に知って頂く機会となりました。

冷凍空調研究室では、「暖めたり冷やしたり」と題して、-25℃程度の低温条件の環境実験室の公開や空調関連の技術についてパネル展示・解説が行われました(図10)。環境実験室は、船舶が航行する様々な環境(北太平洋から赤道付近)を再現することにより、物品の輸送時の保管や、温度湿度による機器や人体に及ぼす影響を調べるための装置です。



図9 船用2ストロークディーゼル機関



図10 実験用冷凍サイクル

関東学生会 全体交流会
「公益財団法人 鉄道総合技術研究所」
見学・講演・交流会

開催日：2012年11月19日（月）13:30～18:00

会場：公益財団法人 鉄道総合技術研究所
〔東京都国分寺市光町 2-8-38〕
<http://www.rtri.or.jp/>

集合場所：JR 中央線国立駅改札（13:30）

定員：40名（本会学生会員、博士後期課程の正員、および一般学生に限りません）

スケジュール：

13:30 JR 中央線国立駅改札集合、鉄道総研へ移動(徒歩)
14:00～15:30 鉄道総研内の試験設備見学
15:30～17:00 技術講演会（質疑応答含む）
パンタグラフの空力音低減技術(仮題)
鉄道車両の振動制御技術(仮題)
17:00～18:00 懇親会

参加費：無料
※会場までの交通費は自己負担です

申込方法：E-mail または FAX にて、〔関東学生会全体交流会申込み〕と題し、(1) 参加者氏名、(2) 会員資格（学生会員、一般学生の別。学生会員は会員番号を明記）、(3) 学校名・学年、(4) 連絡先（住所・電話・E-mail）、を記入の上、お申し込み下さい。

申込締切日：2012年10月31日（水）

申込先・問合せ先：

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階
日本機械学会内／日本機械学会関東支部 関東学生会
（担当職員 大通千晴）
電話：(03) 5360-3510 / FAX：(03) 5360-3508
E-mail：kt-staff@jsme.or.jp

日本機械学会 関東学生会

第 5 2 回学生会員卒業研究発表講演会

開催日：2013年3月15日（金）

会場：首都大学東京 南大沢キャンパス（東京都八王子市）

募集要項：

- (1) 登壇者は、日本機械学会学生会員である学部 4 年生（高等専門学校 5 年生を含む）卒業予定者とし卒業研究を発表していただきます。
- (2) 講演時間は 1 題目あたり 10 分、討論は 5 分、計 15 分とします。
- (3) 原稿は、A 4 判で 2 頁とします。
- (4) 原稿の作成については、「(卒研) 研究発表に関する規程」（本講演会専用の書式が用意されております <http://www.jsme.or.jp/kt/student/sotsuken.html>）を必ずご覧下さい。
- (5) 会員校の役員（教員等）に、講演申込書、講演原稿の書き方、入会申込みなどの詳細資料を送付してあります。会員校ではない大学等に所属している学生でも、講演申込みは可能です。その場合は、講演申込書、講演原稿の書き方などの詳細資料を日本機械学会関東支部関東学生会に問い合わせして下さい。
- (6) 登壇者は学生会員であることの決まりがあるため、講演申込書の提出までに入会申込み（<http://www.jsme.or.jp/applmem2.htm>）を終了させておいて下さい（会費納入まで）。会費支払までの入会手続き完了が確認できない場合には、講演原稿を受理できませんのでご注意ください。

講演申込方法：

研究発表申込書（<http://www.jsme.or.jp/kt/sotsuken/kouchu.html>）に必要な事項をご記入の上、下記あて郵送または E-mail にてお申し込み下さい。
・会員校の場合は、役員の方経由の場合がありますので、ご確認ください。
・講演発表者には○、指導教員には◎を必ず付して下さい。

締切日：

- 講演申込 2012年11月2日（金）
- 原稿提出 2013年1月10日（木）（会費納入まで確認できない場合、原稿は受理できません。）

Best Presentation Award: 関東学生会および関東支部では、すばらしい口頭発表を行った学生会員に対してその努力と栄誉をたたえ、将来にわたって記録するために Best Presentation Award を贈賞いたします。贈賞式は、懇親会において行う予定です。

懇親会：当日は、夕刻から懇親会も開催される予定です。参加費（学生）1,000 円です。BPA の受賞者は、無料招待となります。

申込先・問合せ先：

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階
日本機械学会関東支部 関東学生会
電話 (03) 5360-3510 / FAX (03) 5360-3508

ジェスメディア 第 100 号（2012 年 10 月号）

発行：日本機械学会 関東支部 関東学生会

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 3 5 番地
信濃町煉瓦館 5 階 一般社団法人日本機械学会内
電話(03)5360-3510 FAX(03)5360-3508

編集：関東学生会 東京ブロック
東京海洋大学：松岡 諒